市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年5月14日(木)午後7時30分~午後8時40分		
会場	金谷構造改善センター	出席者数	80 人 (男63·女17)

地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)

1 市長講話

配布資料に基づき市長説明。

2 質疑応答

(1)

Q: 今後の合併等も考慮して西村山という視点で「金谷地区」を見た場合、位置、交通利便性に優れており、何らかの公共施設を誘致できないか?金谷バイパスの南地域に開発公社による宅地開発はどうか?最上川沿いに島地区のフットパスから左沢フットパスまでを結ぶルートを作ればよいと思うが…?バイパスへの取付け道路は、287号カーブでの接続など危険な箇所も見られる。今後の整備を望む。

A: 現段階で公共施設の構想はない。

な運行方法等も含めて検討したい。

宅地開発は、どこでも大変であり、本市も木の下で苦戦中。将来は別として、今は考えていない。

周遊できれば望ましいので、検討させてもらいたい。

アクセス道路に関しては、今後の市道整備の中で考えていきたい。

(2)

Q: 高齢者対策の充実に感謝。グランドゴルフ場は、チェリーランド4面、中山町6面があるが、近くの最上川河川敷等にも整備願いたい。 高齢者の交通事故増加。高齢者の免許返上「マイカー 公共交通 機関」のために、市内循環マイクロバスの運行を望む。

A: 最上川緑地は、みんなが利用できる多目的広場整備を優先する。グランドゴルフでも使用できるようになる。 巡回バス運行は、他の座談会でも声が多い。多数が利用できる効果的

(3)

Q:老人クラブの「ふれあいサロン部会」でサロンを積極的に展開した。 年間40回以上、延806名が参加。補助(現在5万円)の増額を望む。 A:活発な事業展開に感謝。「サロン事業」は公約のひとつ、21 年度は、24 箇所 48 箇所に倍増し実施。今後、男性が参加しやすい事業メニューの工夫が必要。補助増額の件は要望として承る。

(4)

Q:駅前の駐車場は年中満杯だ。市の管理か?

A:市の所有、管理。無料で使ってもらっている。

市の財産でもあり、一定の管理は必要。駅前活性化の観点や、必要な人が使えるような方法も検討すべき課題である。

柏倉局長補足:基本的には3時間以内の利用としており、その旨表示している。2:30~9:30は施錠し、規制。(実際、裏は開いている状態。)

(5)

Q:定年後、ハートフルセンターで「ふれあい給食」をやっている。市長から現場を見てもらいたい。また、一人暮らし対象の「芋煮会」等の催し への金谷の人の参加が少ない。積極的参加をお願いしたい。

A:現場を見に行く。

(6)

Q: 今日の配布資料の「21年度予算」の事業ごとの予算額について、予算全体の中でのパーセンテージの表示があれば、より理解し易い。 全国的には「寒河江」の認知度は低いが、山形の「さくらんぼ」インパクトは強い。強くさくらんぼと結びつけたイメージ発信が重要。

A: 貴重なご意見、参考にさせていただきたい。 「さくらんぼ」は、近年、県内他市の宣伝強化により埋没気味。 「元祖日本一さくらんぼの里」の位置付けのもと、イベントを含めて がんばっていきたい。

(7)

Q:金谷地区の地名表示「大字<u>柴橋 番地</u>」を分かり易い「大字金谷___ 番地」と変更することはできないか?

A: 行政手続上、大変難しい。

今後、その「難しさ」の程度、内容等を調べてみたい。

総合政策課:変更手続きや変更に伴う問題点の整理と回答必要

(8)

Q:「墓地」沿いの市道の土留が途中までのため、墓地土手の崩れから3軒分の墓石が傾いている。土留の延長を望む。

A:市担当課にお願いしているが、手続きが難しい。名義変更、市への寄付 登記等々の手順が必要であり時間がかかる。担当課に引き続き依頼し、 進めていただいている。

(9)

Q:市の財政負担軽減のため「花咲かフェア」の入場料の有料化はどうか?

A: 有料化しようとすれば、反面、ゲート等の施設整備、人員配置等の費用が必要となる。又、入場者確保も難しくなるなどの問題があり、難しい。最近は、駐車場「協力金」をお願いし、一定の収入確保に努めている。現行の無料開催は、旅行代理店にとっては有難いイベントでもあり、立ち寄りやすい環境をつくっている。

ここ1~2年は従来どおり行い、その後、イベント全体の再検討を行う う予定である。入場料もその中で検討する。

(10)

Q:バイパスへのアクセス「金谷7号線」の完成年度はいつか?

A:今年度は、用地買収と物件補償を予算化した。

当初段階では、買収、補償も全線分ではなかったが、追加経済対策のなかで、21 年度で行う計画とした。)

工事は、来年度以降の予定。

(前建設課長の補足等の後、改めて市長が整理して上記を回答。)

(11)

O:円福寺横の道路を市道編入したが、その後の対応は?

A: 当面、改良予定等ない。

・区長からは、現状の道路幅では除雪もできないので拡幅願いたい旨の 要望が述べられた。

(12)

Q:金谷地区の下水道の整備計画は?

A:現在の計画は、H22年度までの計画であるが、同計画では整備の予定はない。新たに、H23年度以降の計画を作るが、その中で周辺部を含めて検討を行う。

早期に整備したい考えもあるが、実際上の問題として各家庭でも金がかかることになることから、なかなか普及が進まないなどの問題もある。

(13)

Q: 市が発行する各種証明等のネット、メール等での電子化は? 工業団地の拡張に着手したが、雇用拡大の観点から企業誘致計画は?

A: 早めの対応に努める。

総合政策課長補足

現在、県内全市町村は、県一本のプログラムを用いて行っている。証

明書の電子発行のためには、付随する手数料の収納も電子的に行うことが必要なことからまだ実施には至っていない。

新たな立地促進のため、約20haの拡張を準備し、企業誘致も進めている。景気が急激に悪化している現在、企業立地は難しい面もあるががんばっていく。

(14)

O:「学校給食への取組状況は?

A:教育委員会では、「教育振興計画」を策定し、計画に基づき、教育行政を 推進している。本市の現計画では、中学校給食は行わない方針となって いるため、見直しが必要であり、その作業に入っている。

公約で実施の目途2年としており、計画見直しを並行して、具体的な実施方法を外部の委員も含めた検討委員会検討していただいている。

県内では、最後の実施となるが、県内での実施状況を参考にして、最も 優れた方法で中学校給食を実施していきたい。

後日回答

ふれあいサロンについて(健康福祉課)

「ふれあいサロン事業」は、今年度 24 か所から 48 か所に倍増しましたが、市内全地区に設置すべく事業を進めているところです。

今年度初めて事業を立ち上げるサロンには、男性の参加を積極的に進めていただくことや事業のメニュー等について説明したり、継続のサロンにもテーマや講師の紹介を行い、活発なサロン事業の展開を図っていきたいと考えております。また、本年9月3日に「支え合う地域づくりをめざして」をテーマに、地域づくりのノウハウや全国の地域の実践例に詳しい講師の先生を迎え、講演とふれあいサロン実施団体からの実践報告などのふれあいサロン活性化研修会を開催する予定です。今後とも大勢の方の参加が得られ、高齢者が元気になるような事業にしてまいります。委託料の増額については、まずは実施団体の増に努めておりまして増額については、考えていないところです。無料でできる事業のメニュー等を活用していただき、運営をお願いしたいと思っております。

芋煮会の参加者の件について (健康福祉課)

「芋煮会」の件ですが、ひとり暮らし老人の集い事業として、社会福祉協議会が年2回7月と10月ころに実施しております。参加者への呼びかけは民生児童委員にお願いし、取りまとめております。多くの参加を得られるようにさらなる事業の周知を図っていきたいと考えております。

金谷地区の地名表示「大字柴橋 番地」を分かり易い「大字金谷 番

地」と変更することはできないか?(総合政策課)

字の名称と区域の変更は、一般的には住居表示を行う場合や土地区画整理事業に伴って変更が必要になるなど特定の理由がある場合になされます。

しかし、本市では、これら一般的な理由のほかに、大字寒河江地内の一部において、地区民の要望に応え、字名を町名に変えて、市街地らしく、またわかりですい住所を使用できるようにした経過があります。

大字柴橋字金谷を大字金谷に変更することについて法務局と協議したところ、法務局において膨大な事務量が発生するものの、特に支障が生じることはないとのことでありましたが、1地区だけでなく市全体に波及することであるので、全市的な見地から検討する必要があるのではないかと助言をいただいたところです。

具体的に実施するとなれば、市議会の議決を経て変更を行うことになりますが、住所が変わることにより、地区の方一人一人から、登記の変更のほか、いろいろなところに届けている住所を変更していただく必要があり、負担をおかけすることになります。

また、地区の方全員に影響があることですので、地区全体の要望としてまとめていただく必要があります。

つきましては、全市的な見地と、個人の負担が伴うことを了承した上での金谷地区民の総意としての強い要望であるという点を踏まえた中で検討してまいります。